



学校だより



令和8年7月1日発行
さいたま市立本太小学校

Tel 048-882-3007

<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>

e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

コミュニケーション力をはぐくむ

校長 野津 美智代

1学期も残りわずかとなりました。子どもたちからは、夏休みを心待ちにする声が多く聞こえるようになりました。

さて、昨年度の学校評価アンケートでは、他の項目と比較して、あいさつに関する項目の肯定的評価がやや低い結果となりました。

そこで、今年度は、爽やかなあいさつができる児童を増やしたいと考え、4月から『あいさつマスター』の取組を始めています。

朝の登校指導では、私より先に爽やかなあいさつができた児童に「花丸！」と声を掛けています。そして、10回「花丸！」をもらった児童には、「10回花丸もらえました。」と自己申告をしてもらい、あいさつが上手にできた証として『あいさつマスター』カードを渡しています。6月25日現在、546人の児童が『あいさつマスター』になりました。



「あいさつの大切さ」を知ってほしいと始めたこの取組には、2つのねらいがあります。

1つ目は、爽やかなあいさつができるようになること。

2つ目は、自分の言葉で伝える力（コミュニケーション力）を身に付けること。

時には、「校長先生、〇〇さんは花丸が10個たまったので、カードをほしいそうです。」と友達が代わりに伝えに来ることがあります。そんな時、私は必ず「〇〇さん、自分でお話してみてね。」と返します。すると、恥ずかしそうにしながらも、自分で申告してくれます。そして、カードを手に満面の笑みを浮かべます。友達に代弁してもらえば、『あいさつマスター』カードを受け取ることはできますが、自分の言葉で伝える経験を積む機会は失われてしまいます。小さなことかもしれませんが、勇気を出して自分の言葉で伝えられた経験は大きな自信につながると考えています。

先日、1年生が学校探検で校長室を訪ねてきました。

「失礼します。今、インタビューしてもいいですか？」

その姿から、教室で何度も練習を重ねてから来室したことが伝わってきました。

他の学年でも、教科指導はもちろん、校外学習や児童会活動など、様々な教育活動を通して、コミュニケーション力を身に付けることができるよう工夫しながら、指導を進めてまいります。

もうすぐ、夏休みです。ご家族で外出される際には、（自分が食べたいものを店員さんに注文する）、（わからないことがあれば、自分で質問する）など、お子さんが様々な人とコミュニケーションを図る機会を意図的に設けてみてはいかがでしょうか。

今学期も保護者並びに地域の皆様には、温かなご協力をいただき、誠にありがとうございました。